

公益財団法人高知勤労者福祉サービスセンター基幹業務システム調達実施方針

1 概要

当財団が使用する会員管理システム、事業管理システム、会費管理システムその他付随するシステム（以下「基幹業務システム」という。）について、再構築等を行うもので、その調達方法や予算等について定めるもの。

現行システムについては、再リースにより令和8年9月末まで稼働することとし、令和8年10月より新システム稼働を予定する。

2 目的

当財団が現在運用している業務システムのリース期間満了に伴い、新システムの調達とハード機器の入替え等が必要となる。

個人情報の漏洩等に対するセキュリティ強化及びBCP対策の一環として、クラウドサービスを導入すること及びインターネット申請の本格導入による会員の利便性向上を図るため、既存パッケージをベースとした基幹業務システムを調達するもの。

「開発、運用及び保守に係る経費の最小限化」、「業務遂行における効率化及び省力化」、「会員サービスの利便性向上」を図ることを目的にシステム調達する。

3 提案上限額

システム構築委託費用の総額が20,000,000円を超えない額（消費税及び地方消費税を含む。）で提案を求める。

システム構築委託費用には、以下の費用を含むものとする。

- (1) システム構築費用
- (2) データセンター費用
- (3) 出力された既存データを移行する費用
- (4) システム保守運用委託費用（5年間分）

4 調達方法

新基幹業務システムの構築にあたっては、公募型プロポーザル方式により委託業者を選定し、調達を行うこととする。

パッケージをベースとすることで導入費用の削減効果を期待するとともに、技術面を含めた企画提案を評価することで、財団業務に最適なシステム構築及び運用を目指す。

5 必要な機能

インターネット申請を本格的に導入することでDX化を推進し、事業受付機能を強化する。窓口への来庁者を減らすことで、会員の利便性の向上と職員の業務負担を軽減し、この人役を会員拡大業務や事業企画の充実等に充て、事業推進の強化を図る。

また、クラウド管理を導入することでセキュリティの強化と災害時の迅速な応急復旧に資することができるため、必須機能とする。

その他、公募型プロポーザル方式による実施により、事業者からの提案を審査し、「2 目的」に合致するシステムを適切に評価する。

(1) 必須機能

機能	説明
クラウド管理	クラウドサーバーにおいてシステム稼働を行う。
事業所管理	会員事業所情報の管理
会員管理	会員情報の管理
会費管理（請求、還付）	会費収納状況の管理
事業管理（参加費、助成）	補助事業の管理
共済給付管理	慶弔共済給付管理
インターネット受付機能	各種事業等のネット受付
スマートフォン対応	スマホ専用画面による表示
決済代行	事業、会費等のコンビニ決済
電子会員証	会員証の電子化

(2) 検討機能

機能	説明
会報誌の電子配信機能	
電子決裁	システム内における意思決定
電子チケットの導入	チケットの電子配信

6 調達スケジュール

令和7年3月25日	理事会 事業承認
令和7年4月23日	審査委員会設置、実施要領承認
令和7年5月13日	実施要領及び仕様書公開
令和7年5月30日	質問書提出期限
令和7年6月10日	質問書に対する回答
令和7年7月1日	提案書受付期限
令和7年7月23日	プレゼンテーション
令和7年7月下旬	優先交渉権者決定、契約調整
令和7年8月上旬	契約
令和8年10月	本稼働